

メンテナンス・各種テストデータ

メンテナンス

- 床材を美しく保つためには、定期的な清掃を行ってください。
- 日常の清掃は、ほうき・掃除機・ダスター等で塵埃をとり、固く絞ったモップ・雑巾等による水拭きで十分です。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄く溶かし、ハンドパッドで擦り取り、仕上げに水を含ませた布(ウエス)で拭き取ってください。
自動洗浄機を使用する場合、目の粗いパッドを使用すると表面の特殊コーティング層が摩耗する可能性がある為、注意してください。
- 外から持ち込まれる砂等は、床材の表面に傷をつけます。
出入口等に泥落としマットを設置し土砂の持ち込みを防止することで、床の摩耗を防ぎ、耐久年数を伸ばすことができます。
- 直接日光が当たる床面は気付かないうちに少しずつ退色することがあります。カーテン・ブラインド等で日除け等の工夫をしてください。
- ノンワックス商品でワックスメンテナンスに切り替える場合は、下記をご確認ください。
 - ・ワックスは水性樹脂ワックスをご使用ください。耐薬品性の製品は、耐アルコール性・耐薬品性ワックスをご使用ください。
 - ・ワックスを塗布する際は、最初にクリーナー等で床面の汚れを落としします。綺麗な雑巾等で水拭きし、汚れと余分なクリーナーをよく拭き取ってください。
 - 床面が十分に乾燥したことを確認後、ワックスを塗布してください。乾燥が不十分な場合、密着不良の原因となります。

推奨クリーナーNEWプロインパクト(リンレイ製)

推奨下地ワックスP-711(リンレイ製)※ノンワックス商品でもお使いいただけます。

推奨仕上げワックス下記より選択

■推奨仕上げワックス(全てリンレイ製)

ワックス機能性	帯電防止性	耐ヒールマーク性	耐アルコール性/抗菌
ワックス商品名	ノンスタック	ノンヒールネオ速乾	NEWアルテクト速乾

ワックス・クリーナーにつきましては、ハウスクリーニング業者・美装業者にお問い合わせください。又は、(株)リンレイのホームページをご参照ください。(株)リンレイ URL <https://www.rinrei.co.jp>

※抗ウイルスの商品はワックスを塗布すると、抗ウイルス機能が発揮されません。

テストデータ

■ 床材性能一覧表

製品の種類	規格厚さ	JIS記号	へこみ量		残留 へこみ量	加熱による長さ 及び巾変化率		密度	防滑性※1 C.S.R値		摩耗性 (厚さ減少量)	耐光性※2
			23℃	45℃		タテ	ヨコ				1000回	
			mm	mm	mm	%	%	kg/m ³	清掃	水+ダスト	mm	号
タイプ	mm											
セラビア フィット (STF9001～9019)	2.00	HS	1.01	—	0.09	-0.05	-0.01	870	0.87	0.50	0.13	5
セラビア フィット (STF9020～9024)	2.00	HS	0.58	—	0.07	-0.07	-0.06	1360	0.80	0.43	0.10	5
セラビア	2.80	HS	1.58	—	0.11	-0.03	-0.04	770	0.93	0.52	0.12	5
セラビア 4.5	4.50	HS	2.91	—	0.20	-0.15	0.16	790	0.81	0.51	0.13	5
デコレア	2.00	FS	0.66	0.94	0.05	-0.05	0.01	—	0.82	0.57	0.08	5
デコレア フリー	2.00	FS	0.65	0.86	0.06	-0.73	0.12	—	0.84	0.54	0.10	5
エブリア ウッド (SEM9251～9257)	2.00	FS	0.77	1.02	0.07	-0.52	-0.04	—	0.85	0.55	0.10	5
エブリア ウッド (SEM9258～9265)	2.00	FS	0.61	0.95	0.15	-1.50	0.38	—	0.86	0.58	0.03	5
エブリア (SEV9401～9432)	2.00	FS	0.79	1.03	0.06	-0.62	0.11	—	0.89	0.51	0.08	5
エブリア (SEV9433～9437)	2.00	FS	0.67	1.05	0.12	-0.71	-0.06	—	0.84	0.59	0.04	5
SFW	2.00	FS	0.77	1.02	0.07	-0.52	-0.04	—	0.85	0.55	0.10	5
SFP	2.00	FS	0.59	0.83	0.16	-0.84	0.01	—	0.82	0.52	0.06	5
SFM	2.00	FS	0.58	0.81	0.15	-1.10	0.01	—	0.82	0.52	0.06	5
リフレッシュ	2.00	FS	0.60	0.92	0.17	-0.88	0.19	—	0.80	0.56	0.07	5
S	2.30	KS	1.23	—	0.12	-0.10	-0.12	499	0.96	0.51	0.15	5
SXG	2.30	KS	1.26	—	0.23	-0.10	-0.13	473	1.01	0.56	0.15	5
耐薬フロア	2.00	FS	0.59	0.87	0.17	-0.30	0.01	—	0.70	0.58	0.04	5
帯電防止フロア	2.00	FS	0.69	0.96	0.20	-0.70	0.20	—	0.82	0.54	0.06	5
BKシート (SBK9301～9303・9801～9803)	2.50	FS	1.15	1.37	0.71	-0.03	-0.04	—	0.83	0.52	0.04	5
BKシート (SBK9304～9306・9804～9806)	2.50	FS	0.98	1.33	0.09	-0.12	-0.20	—	0.94	0.62	0.08	5
BKシート (SBK9307～9310・9807～9810)	2.50	FS	0.93	1.22	0.69	-0.04	-0.02	—	0.88	0.63	0.10	5
BKシート (SBK9311～9316・9811～9816)	2.50	FS	0.99	1.39	0.11	-0.11	-0.18	—	1.03	0.83	0.07	5

【試験方法】JIS A 1454に準拠 ※1 紳士靴の硬底を想定したもの ※2 BKシート記載の耐候性マークとは試験方法が異なります。

■ 耐汚染性能

耐汚染性試験

汚染物質	試験結果
5%次亜塩素酸ナトリウム	異常なし
2%水酸化ナトリウム水溶液	異常なし
5%塩酸	異常なし
セメントペースト	異常なし

【試験方法】JIS A 1454
試験片の表面に試薬(汚染物質)を2mℓ滴下し、時計皿をかぶせて24時間静置する。その後、家庭用中性洗剤を含む水で洗い、さらに工業用アルコールで表面を拭き取ってから1時間静置する。静置後、照度750Lx以上の照明器具を用いて、目視にて滴下部分の色及び光沢の変化を確認し、汚染性を評価する。

防災／JABIA 登録番号

タイプ	JIS記号	防災性能 試験番号	JABIA	備考
セラビア フィット (STF9001～9019)	HS	E-1190227号	JABIA-V-1879号	—
セラビア フィット (STF9020～9024)	HS	E-1170215号	—	—
セラビア	HS	E-1190228号	JABIA-V-1880号	—
セラビア 4.5	HS	E-1220181号	—	—
デコレア	FS	ET-940208号	JABIA-V-0635号	—
デコレア フリー	FS	E-1160163号	JABIA-V-1717号	—
エプリア ウッド (SEM9251～9257)	FS	ET-090049号	JABIA-V-1481号	—
エプリア ウッド (SEM9258～9265)	FS	E-1180008号	—	—
エプリア (SEV9401～9432)	FS	E-1170150号	JABIA-V-1775号	—
エプリア (SEV9433～9437)	FS	E-1180008号	—	—
SFW	FS	ET-090049号	JABIA-V-1481号	—
SFP	FS	ET-790347号	—	—
SFM	FS	E-1130200号	—	—

タイプ	JIS記号	防災性能 試験番号	JABIA	備考
リフレシア	FS	E-1190113号	—	—
S	KS	ET-840242号	JABIA-V-0631号	—
SXG	KS	ET-020198号	JABIA-V-1171号	—
アンダーレイシート (3mm厚)	—	ET-980023号	—	—
アンダーレイシート (5mm厚)	—	ET-980024号	—	—
耐薬フロア	FS	E-1130201号	—	—
帯電防止フロア	FS	ET-850018号	—	—
BKシート (SBK9301～9303・9801～9803)	FS	E-1160050号	—	—
BKシート (SBK9304～9305・9804～9805)	FS	E-1160108号	JABIA-V-1877号	SN
BKシート (SBK9306・9806)	FS	E-1160108号	JABIA-V-1882号	JB
BKシート (SBK9307～9310・9807～9810)	FS	E-1160048号	—	—
BKシート (SBK9311～9313・9811～9813)	FS	E-1160108号	JABIA-V-1878号	VS
BKシート (SBK9314～9316・9814～9816)	FS	E-1160108号	JABIA-V-1883号	RX

重要警告事項及び取扱い注意事項

弊社製品を正しく安全にお使い頂く為に、床材カタログ及び重要警告事項、取扱い注意事項を理解してご使用ください。建築物の床材以外への誤使用は責任を負いかねます。

- 製品の選定は使用場所・使用用途に適した床材を選定してください。
- 接着剤選定に関しても使用場所の条件に適したものを選定してください。
- 製品の選定者は使用者に対して維持管理ならびに使用上の注意事項に関して詳しく説明してください。

◎右のシグナルワードは、取り扱いに当たっての危険度を示しています。

シグナルワード	危険度の目安
	人身事故になる恐れのあるもの
	留意事項

床材選択上の注意事項

-  ① 建築基準法・消防法によって使用方法・使用場所に制限があります。各法規法令をご確認ください。
-  ② 防滑性評価は、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや土砂の持ち込み、使用したワックスの種類等環境によって大きく左右されます。選択の際のひとつの目安としてご利用ください。
-  ③ 床材の耐久性は歩行頻度、使用条件等により異なります。
-  ④ 下地からの湿気の上昇が予想され、更に改善の余地がない場所での使用は避けてください。
- ⑤ 現物見本やサンプル帳と製品の色が若干異なる場合がある為、ご了承ください。

床材運搬並びに保管上の注意事項

-  ① 重量物ですので取り扱いには充分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いは、床シートの破損を招くだけでなく、**傷害や器物破損**等を招く場合があります。
-  ② 保管に際して、床シートは梱包を解かず、平坦な場所に非透湿性の保護シートを敷き、その上に横向きにし保管してください。ただし、多段積みになる様な場合は、まっすぐに立てて保管してください。斜めに立てかけることによっても、角に集中荷重がかかり、**変形**が発生する可能性があります。また安全の為、ロープ等で倒れないように工夫してください。重量物ですので、床シートの転倒は**人災事故・器物破損**の原因となります。
- ③ 床シートは長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水等による水濡れは避けてください。**変形・変退色・変質**の原因となります。

接着剤保管上の注意事項

-  ① 消防法及び船舶安全法等の法令に従い、容器に漏れないことを確かめ、**転倒・落下・破損**がないよう荷崩れ防止を確実に行います。また、保管は消防法の集積制限に注意してください。
-  ② 保管は必ず5～35℃の室温で行ってください。凍結させたり、高温で保管すると**変質・分離**を起こし使用不能となる可能性があります。

施工の注意事項

-  ① 接着剤の選定にあたっては、推奨されている種類のものを正しく使用してください。建築基準法の改正に従い、なるべく接着剤の使用制限を受けないJIS認定のF☆☆☆☆表示のものを使用するようし、施工時および施工直後は特に換気をしてください。
-  ② 床シートの残材は廃棄処分してください。燃やすと有毒ガス(塩化水素ガス)が発生する為、許可を受けた**産業廃棄物処理業者**に委託してください。梱包用紙・紙管は焼却処分してください。
-  ③ 下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工条件を順守しなかった場合は、目地すきや突き上げ、膨れ等を招く可能性があります。これらは美観を損なうだけでなく、**転倒事故**等の原因となります。
-  ④ S・SXG・アンダーレイシートは裏面にガラス基材を使用しています。カッターの切り口や破れ口にガラス繊維が露出する場合がありますので、直接皮膚に触れないようにご注意ください。万一、眼に刺激を感じた場合や身体に異常が感じられましたら決してこすらず流水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
-  ⑤ 下地にワックス、グリス、油類、塗料等の汚れが残っていると、接着不良や汚染が発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始してください。
- ⑥ 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。同一床面上では、同ロットで仕上げてください。
- ⑦ 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐ為に、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- ⑧ 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、付属のくし目ゴテで均一に塗布してください。

維持管理並びに使用上の注意事項

-  ① 水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすく**転倒事故**を招く可能性があります。泥よけマットの設置等で雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようにしてください。
-  ② 床シートの剥れ、反り、膨れ、割れ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくで全体に影響が及び美観を損なうほか**転倒事故**の原因ともなります。
-  ③ 接着剤が十分に硬化するまでは直射日光や冷暖房による急激な温度変化、重量物やキャスター椅子等によるしこき等は避けてください。突き上げ・目地すき・膨れ等が発生させる可能性があります。
-  ④ 重量物やキャスター椅子のしこきによって床シートの表面を傷つけたり、膨れが発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようご注意ください。
-  ⑤ 長期間使用しない部屋では換気を心掛けてください。結露を招き、カビや異臭の発生、床材の剥れ、反り、膨れ、突き上げの原因となります。
-  ⑥ 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品等の影響で、床材自体の変質・変退色や施工後の膨れ、剥れ、目地すきを招く場合があります。床材の選択・施工・維持管理の際は充分にご確認ください。
- ⑦ ワックスメンテナンスの場合は必ず指定のワックスまたは、同等品をご使用ください。ワックスは床シートの汚れを防ぎ美観を保持します。
- ⑧ ある種の家具の脚ゴムやゴムマット等に含まれる老化防止剤、家具の塗料、防腐剤等の薬剤、防虫剤、防蟻剤によって床材が汚染され変色を招く可能性があります。床材がこれらに直接触れないよう注意してください。
- ⑨ 長時間直射日光が当たる場所では、変退色する可能性がある為、カーテン・ブラインド等で日除けをしてください。
- ⑩ 素材固有の臭いを有しています。換気を心掛けてください。
- ⑪ ハイヒールや家具等の局部荷重により圧痕が残る可能性があります。